

# 2026年度事業計画

## I. 総括

2021年5月28日付けで公布された「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」（令和3年法律第49号。以下「改正法」という。）により、診療放射線技師法が改正され、令和3年10月1日より施行された。昨年度で「告示研修」が終了したが、全国には告示研修未受講者もいるため、JARTから東京都開催の要請を受け、2026年度も開催することを予定している。本会としても公益社団法人日本診療放射線技師会と協調し、円滑に告示研修が開催できるように実施し、多くの診療放射線技師の方々が受講できる環境を提供する。

地区委員会に対して、新たな活動企画や地区の個性を引き出す取り組みを目指していく。昨年度に引き続き地区委員会などを通じてヒアリングを実施し、地区活性化を目指す。主な活動としては、会長・副会長が中心となり、各地区の委員会に参加させていただき、地区からの意見などを傾聴し、事業活動の参考にする。

2026年度は入会促進や本会事業の取組みなどについて、会員や非会員および一般の方々へ広報する方法を関係委員会とともに検討を始める。また、昨年度と同様に今年度も入会促進のフライヤーなどを利用し、本会がめざしている会員数3千名に向け入会促進を継続し進めていく。

今年度、東京支部と東京放射線医療技術合同学会大会を一橋講堂にて開催する。初めての試みとなるが東京支部と共に双方の専門性やリソースを最大限に活用した多角的なシンポジウムや演題を企画する。初めての合同開催という挑戦を成功に導くべく、組織運営の透明性と学術的質を両立させ、地域社会ならびに専門分野の発展に寄与する、密度の高い学会大会の実現を目指し開催します。

2024年度から交流が再開されたソウル市放射線技師会（SRITA）との交流として、2026年度は、東京放射線医療技術学会大会へ学術交流の一環として招聘する。また、初めて英語で発表する方々の登壇としての位置づけを本会として継続して取り組んでいく。

公益法人として都民に対し、放射線検査関連および医療関連の知識や情報の提供をHP等、市民公開講座などを通じて実施する。また、都内で開催される市民・区民・職能団体のイベントに参加し、診療放射線技師資格の広報ならびに被ばく相談や乳がん触診、骨密度等々について都民の方々へ健康面等への貢献を実施する。

長年続けてきた本会事業のイノベーションをはかり、会員一人ひとりがその事業の背景や目的を認識し継続的に実施する。そして、本会事業の取組みについて次世代への人材育成と継承をはかっていく。

以下に、2026年度の主な事業計画案を挙げる

1. 告示研修開催に向けての環境作り
2. 地区活動の活性化を目的とした取り組み
3. 入会促進の推進や本会事業を広報するために新しい広報活動を検討し企画する
4. 東京支部と合同で東京放射線医療技術学会大会を開催する

5. 国際学術大会及び交流などへの環境提供を行う
6. 公益社団法人として公益事業の拡大をはかる
7. 事業活動全般における「継続と継承」を目的に人材育成をはかる

本会は以上の事業計画に則り、診療放射線技術の発展と安全・安心に医療が都民に対し、提供できるための努力を行い公益法人として透明性のある事業活動を行う。役員、会員の皆さまには、一層のご支援と積極的な会務への参画をお願いする次第である。

## Ⅱ. 定款に基づく本会の事業

### (目的)

この法人は、診療放射線学の向上発展と放射線障害の防止に関する事業を推進するとともに、東京都における診療放射線技師の職業倫理を高揚することにより、放射線検査・治療技術の質の確保と都民の健康および医療、ならびに保健の質の維持発展に寄与することを目的とする。

### (事業)

この法人は、前項の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 診療放射線学の向上のための学術及び科学技術の振興、並びに調査研究を目的とする事業
- (2) 放射線医療及び放射線障害防止に関する啓発普及事業
- (3) 放射線関連機器及び診療用放射線の安全管理を推進する事業
- (4) 医療、公衆衛生に関する関連機関団体との連携協調の促進
- (5) 前各号の主旨を目的とした学術誌の刊行
- (6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

### 1. 診療放射線学の向上のための学術及び科学技術の振興、並びに調査研究を目的とする事業

都民、本会会員、診療放射線技師および医療従事者を対象に下記の事業で知識の啓発普及を行います。また診療放射線技師においては、職業倫理を高揚し保健の質の維持発展および公衆衛生の向上に寄与します。この事業を通して、放射線災害や放射線事故に備えて、会員および広く診療放射線技師に対して緊急事態時における放射線測定や放射能除去の訓練を常日ごろより行うとともに、東京都民に対する啓発や知識の普及を行います。これらの広報は、本会学術誌やホームページを通じて公表します。

#### 1) ペイシェントケア学術大会

開催時期：1月

開催場所：東京都内のイベントホール

主催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

後援：東京都および開催場所の市または区

実施内容：ペイシェントケアをテーマに患者医療に関する公開講演会およびシンポジウムを実施します。

#### 2) サマーセミナー

開催時期：8月

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

実施内容：最新の診療放射線機器の情報提供を機器メーカー側とユーザーである会員側から、それぞれの立場で講演を行います。また、疾患や臨床研究など幅広い分野からテーマをきめ基礎から応用まで分かりやすく講演を行います。

#### 3) ウインターセミナー

開催時期：2月

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

実施内容：最新の診療放射線機器の情報提供を機器メーカー側とユーザーである会員側から、それぞれの立場で講演を行います。また、疾患や臨床研究など幅広い分野からテーマをきめ基礎から応用まで分かりやすく講演を行います。

#### 4) メディカルマネジメント研修会

開催時期：9月

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

実施内容：診療放射線技師をはじめ医療職の管理職を対象に危機管理や経営学をはじめ、各業界から専門家を招いて研修を行います。

#### 5) 合同学術講演会

開催時期：10月

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会・公益社団法人日本放射線技術学会東京支部

実施内容：東京都内の診療放射線技師が所属する2団体での合同企画であり、講師に診療放射線技師はもとより、医師、看護師をはじめとしたメディカルスタッフ分野の専門家、および有識者を招きます。

#### 6) 日暮里塾ワンコインセミナー

開催回数：年間9回程度（不定期開催）

開催場所：東京都診療放射線技師会研修センターまたは大学病院などの研修施設

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

実施内容：診療放射線技師をはじめ、医療職や一般も対象に、放射線技術や患者接遇などに関する研修を行う。入場制限はありませんが、会場整理費を徴収しています。

参加人数：約50人

#### 7) 支部研修会

開催回数：年間5回程度（不定期開催）

開催場所：東京都診療放射線技師会研修センターまたは大学病院などの研修施設

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会 各支部

実施内容：診療放射線技師をはじめ、医療職や一般も対象に、放射線技術や患者接遇などに関する研修を行う。入場制限はありませんが、会場整理費を徴収しています。

参加人数：約50人

#### 8) 地区研修会

開催回数：年間16回程度（不定期開催）

開催場所：東京都診療放射線技師会研修センターまたは大学病院などの研修施設

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会 各地区委員会

実施内容：診療放射線技師をはじめ、医療職や一般も対象に、放射線技術や患者接遇などに関する研修を行う。入場制限はありませんが、会場整理費を徴収しています。

参加人数：約50人

9) 診療放射線技師の民間の給与、放射線医療に関する実態調査および各種研修会および講演会にてアンケートを実施し、その動向を調査し、今後の活動に生かす情報取得に努めます。これらの情報は、学術誌やホームページを通じて公表します。

## 2. 放射線医療及び放射線障害防止に関する啓発普及事業

都民を対象に下記の事業にて放射線医療および放射線障害防止の知識の啓発普及を行います。それぞれのイベントでは展示ブースなどを設置し、写真やパネルの展示、パンフレットおよび本会学術誌の配布を行います。また一般参加者からの医療被ばく相談や放射線に関する質問に対しては、会員が応対し、無料で適切なアドバイスを行います。これらの広報は、本会学術誌やホームページを通じて公表します。

### 1) ピンクリボンウオーク2026

開催時期：4月

開催場所：未定

主催：認定NPO法人乳房健康研究会

実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、パンフレット配布、学術誌配布

### 2) 第24回看護フェスタ2026

開催時期：5月

開催場所：東京都看護協会会館

主催：公益社団法人東京都看護協会

実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、パンフレット配布、学術誌配布

### 3) 第49回練馬まつり

開催時期：10月

開催場所：南町小、開進第二中

主催：中央区健康福祉まつり実行委員会、中央区、中央区社会福祉協議会

実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、放射線クイズ、パンフレット配布、学術誌配布

### 4) 中央区健康福祉まつり2026

開催時期：10月

開催場所：中央区保健所、福祉センター

主催：中央区健康福祉まつり実行委員会、中央区、中央区社会福祉協議会

実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、放射線クイズ、パンフレット配布、学術誌配布

### 5) OTAふれあいフェスタ2026

開催時期：11月

開催場所：ボートレース平和島

主 催：OTAふれあいフェスタ実行委員会、大田区

実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、骨密度測定、パンフレット配布、学術誌配布

6) ピンクリボンキャンペーン

開催時期：11月

開催場所：東村山市いきいきプラザ

主 催：市民健康のつどい実行委員会、東村山市

実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、パンフレット配布、学術誌配布

6) 放射線検査や医療被ばくに関する相談への対応

ホームページを利用して、一般の方からの放射線検査や医療被ばくに関する質問に適切にアドバイスを行います。

7) その他

東京都診療放射線技師会の主催で、都民講演会やレントゲン週間イベントの単独開催を計画中。

### 3. 医療放射線の安全管理および放射線関連機器の安全管理を推進する事業

都民、本会会員、診療放射線技師および医療従事者を対象に放射線関連機器の完全管理の推進を行います。またこれらの広報は、本会学術誌やホームページを通じて公表し、各種セミナーにて、放射線関連機器の安全管理に関する知識の普及を行います。

### 4. 医療、公衆衛生に関する関連機関団体との連携協調の促進

- 1) 東京都保健医療局医療政策部と連携を図り、医療従事者ネットワークに参加する医療専門職関連団体との連携を強化し、医療におけるさまざまな問題について協議を行い、改善を図ります。
- 2) 公益社団法人日本診療放射線技師会の生涯教育セミナー、臨床実習指導教員、放射線機器管理士および放射線管理士講習会などの事業に協力します。関東甲信越診療放射線技師学術大会を共催し、関東甲信越地域の放射線技師会との連携を図ります。
- 3) 放射線関連団体、医療関連機関、医療関連職能団体との交流を促進します。
- 4) 東京都内の診療放射線技師を養成する大学などと連携し、本会刊行物の無料配布を通じて診療放射線技師が果たす医療の役割を理解していただく啓発活動を行います。

### 5. 前各項目の主旨を目的とした学術誌の刊行

1) 学術誌「東京放射線」の刊行。

月刊誌「東京放射線」を発行し、会員に配布するとともに国立国会図書館、医療関連機関、全国の放射線技師会および診療放射線技師を養成する大学などに寄贈します。またイベントの展示ブースにて、都民をはじめ一般の方に広く配布します。

2) 本会の活動に関する図書の刊行。

診療放射線技師および放射線医療に役立つ学術資料を刊行します。

## 6. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

1) 診療放射線技師の生涯教育を行います。

診療放射線技師のエキスパートにより、少人数制で専門的で高度な技術を習得し、診療放射線技師の生涯教育の目的で行います。またフレッシュャーズセミナー、各種基礎技術講習、告示研修など、公益社団法人日本診療放射線技師会との共催として開催し、技師としての礎を築くことができるようにいたします。これらを通じて入会促進に努めます。

2) 専門技術および資格の取得に向けた講習会を行います。

他団体と連携を図り、専門技術のさらなる習得と認定技師制度に基づく取得を目的に、きめこまかな生涯教育、集中講習会を開催します。

3) 本会は、定款諸規程および内規に則って運営を行います。この定款諸規程を現状の組織運営に適した修正作業を行います。

4) 組織の活性化、新卒者などの入会促進のための活動を行います。更に雇用の促進と確保に努めます。

5) 会員の中から、叙勲、厚生労働大臣表彰、東京都功労者表彰などへの申請を行います。また本会における規定の表彰を行います。

6) 地球環境保全活動の推進のため、地域の清掃活動などに参加します。

### Ⅲ. 委員会事業計画

2026年度の各委員会の事業計画が次のように企画されています。会員の皆さまのご協力をお願いします。なお、日時および詳細につきましては当該委員長にお問い合わせください。

#### 1. 専門部委員会

##### 総務委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・委員会を年4回開催する。
- ・総会の準備を行う。
- ・理事会の準備を行う。
- ・中間監査の準備を行う。
- ・期末監査の準備を行う。
- ・新春のつどいの準備を行う。
- ・役員研修会の準備を行う。
- ・役員選挙の準備を行う。

##### 庶務委員会

- ・委員会を開催する（年4回程度）。
- ・公文書の対応ならびに管理を行う。
- ・会員動向管理を行う。
- ・会員情報提供申請書の対応を行う。

##### 経理委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図ることに支援する。
- ・予算書、決算報告書の作成。
- ・毎月の伝票入力と予算執行の確認。
- ・四谷監査法人との連携強化。
- ・ペイシェントケア学術大会、新春のつどいの受付支援。
- ・委員会を年11回開催する、経費のかからない形で開催する。
- ・会計処理規程の見直し。
- ・経理運用規程の見直し。

##### 編集委員会

- ・会誌東京放射線の年11回発行。（8月を除き毎月発行）
- ・委員会を年12回開催する。（Webにて毎月第2～3週にて会誌の再校・企画）
- ・新連載などの企画検討。
- ・会誌進呈先の確認。
- ・過去データの管理（写真、会誌PDF）。
- ・編集委員会内規（規程）の作成。

##### 学術委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・委員会を年11回開催する（第2水曜日）。必要に応じて会議開催を行う。

- ・日暮里塾ワンコインセミナーを3回開催する。
- ・サマーセミナー・ウィンターセミナーを各1回開催する。
- ・メディカルマネジメント講習会を教育委員会と協議し開催する。
- ・ペイシェントケア学術大会（第1回東京放射線医療学術大会）を開催する。
- ・学術的な刊行物の発刊および発刊済みの改訂、検討を行う。
- ・他の委員会、各地区との共同企画を開催する。

## 教育委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・教育委員会を年12回開催。
- ・日暮里塾ワンコインセミナーを2～6回開催する。  
(フレッシュャーズセミナー（日本診療放射線技師会）共同開催。
- ・実践集中講習会の開催。
- ・きめこまかな生涯教育の開催。
- ・講習会等で使用するテキストの作成。
- ・教育用コンテンツの作成。
- ・刊行物の発刊／改訂などの検討。

## 広報委員会

- ・広報委員会開催(イベント準備等)。
- ・第24回看護フェスタ。
- ・第42回練馬まつり。
- ・中央区健康福祉まつり2027。
- ・OTAふれあいフェスタ2027。
- ・ピンクリボンキャンペーン（東村山）。

## 厚生調査委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・委員会を年12回開催する。また、必要に応じて会議開催を行う。
- ・診療放射線業務関係・給与関係・技師会活動関係等をテーマに業務・活動実態アンケート調査を1回行う。
- ・各委員会の調査協力の推進を図る。
- ・使用済み切手などの収集活動を行う。
- ・災害関係への募金活動を行う。
- ・会員親睦行事を開催する。

## 情報委員会

- ・ホームページの情報を定期、随時更新。
- ・ホームページ保守、管理。
- ・ホームページの改修作業。
- ・ホームページ使用ニーズに対するシステム変更。
- ・サーバーおよびメーリングリストの保守、管理。
- ・情報委員会会議を適宜に開催する・情報委員のスキルアップ勉強会を開催。

## 渉外委員会

- ・定款に基づく本会事業関連業務。
- ・表彰委員会開催 2回。
- ・渉外委員会開催 適宜。
- ・表彰委員会資料作成。
- ・叙勲への推薦。
- ・東京都功労者表彰への推薦。
- ・総会表彰準備。
- ・日放技永年勤続表彰等への推薦。
- ・その他関連団体における表彰関連業務。

## 災害対策委員会

- ・緊急被ばく医療に関する研修会の実施。
- ・災害対策に関する啓発活動。
- ・委員会開催。

## 2. 地区（支部）委員会

### 第1地区

- ・地区委員会開催。
- ・地区研修会開催。
- ・城東支部研修会開催。
- ・中央区健康福祉まつり参加。

### 第2地区

- ・地区研修会の開催。
- ・城東支部研修会の開催。
- ・中央区クリーンデーの参加。
- ・中央区健康福祉まつりの参加。
- ・地区委員会の開催。
- ・東放技主催の学術大会・イベント等の参加協力。

### 第3地区

- ・地区委員会の開催 年11回。
- ・第3地区研修会の開催。
- ・第3地区名簿の整備。
- ・第3地区における新入会の促進（施設見学、情報交換）。
- ・練馬まつりへの協力。
- ・城西支部研修会の開催協力。

### 第4地区

- ・月1回の理事会報告（8月休会を除く）。
- ・地区委員会を会場型もしくはWeb型で年8回以上開催する。
- ・若手交流会（4地区限定）を年1回行い、地区の若手活性化を図る。
- ・第4地区研修会を年1回行い、TART会員のニーズに合った企画を行う。

- ・表彰対象者を選考する（小野賞、功労賞など）。
- ・城南支部地域（4,8,11,15地区）間の連携を強化し、城南支部研修会に協力する。
- ・OTAふれあいフェスタの運営スタッフに人員派遣し、市民交流に協力する。
- ・JARTおよびTARTの行事へ積極的な参加を促し、参加率向上を図る。

#### 第5地区

- ・各月の地区委員会開催（8月は休会）。
- ・城北支部合同会議（研修会の検討等）。
- ・8～10月頃を予定 5地区研修会の開催。
- ・10月 北区主催の荒川クリーンエイドへの参加。
- ・9月頃を予定 城北支部研修会の開催。

#### 第6地区

- ・地区研修会を開催する。
- ・支部研修会を開催する。
- ・地区委員会を年6回開催する。（毎月第3木曜日開催原則）
- ・必要に応じてその都度、臨時の地区委員会を開催する。
- ・地区会員の地区委員会への参加を要請する。
- ・地区委員会名簿の確認作業と更新を行う。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。

#### 第7地区

- ・地区委員会を開催する。 予定：年6回（対面もしくはZoom会議とする）
- ・地区研修会を開催する。 予定：未定
- ・城東支部研修会の開催及び参加。 予定：年1回
- ・中央区健康福祉まつりに参加する。 予定：例年秋頃
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
- ・地区施設に対して第7地区の活動を広報していく。
- ・地区内の交流を促進させる。

#### 第8地区

- ・地区委員会Web開催もしくは対面開催（理事会報告等）。
- ・地区研修会開催。
- ・城南支部研修会参加。
- ・OTAふれあいフェスタ参加。
- ・情報交換会開催。

#### 第9地区

- ・情報交換会と地区研修会を開催する：26年冬に予定。
- ・城西支部研修会を開催する：開催時期未定。
- ・城西支部各地区との連携を強めていく。
- ・地区委員会を年11回開催する（ウェブまたはメール会議）。
- ・積極的に入会促進をはかり退会会員を減らす努力をする。

- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行い参加率の向上を目指す。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会および地区委員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。

#### 第10地区

- ・地区委員会開催（10回/年）。
- ・地区研修会開催（年度内）。
- ・城西支部研修会開催（年度内）。
- ・地区委員名簿のメンテナンス実施。
- ・小野賞の選考。
- ・地区委員の技師会行事への参加。

#### 第11地区

- ・地区委員会の開催（メール・オンライン会議を含む）。
- ・地区学術研修会の開催。
- ・未入会者への入会促進。
- ・地区会員名簿のメンテナンス。
- ・表彰者の推薦。
- ・地区会員親睦会の開催。

#### 第12地区

- ・第12地区研修会を開催 予定：2027年2月（ハガキを使用して広報）。
- ・多摩支部研修会を開催（第13地区と合同） 予定：2027年3月。
- ・地区委員会を年6回程度開催（不定期）。
- ・地区委員の募集をおこなう。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。（1.定期総会 2.各研修会 3.きめこまかな生涯教育 4.各学術大会（日放技・関東甲信越など） 5.レクリエーション 6.新春のつどい など）
- ・第12地区ホームページの更新・メンテナンスを定期的に行う。

#### 第13地区

- ・地区委員会は毎月開催するが、6回をメール、6回を対面もしくはWEBにて開催する。
- ・年1回の地区研修会を開催→WEB中心で開催を検討（参加費に関しても検討していく）。
- ・年1回の支部研修会を開催→WEB中心で開催を検討（参加費に関しても検討していく）。
- ・地区内任意団体（多摩診療放射線技師連合会）と協力し、夏季レクリエーション大会・親睦会の開催→本事業には東放技役員・会員も広く案内する。
- ・地区委員の見直しと若返りを図る。
- ・会費未納者への声掛け、会員数減の抑制と新規入会促進。
- ・日放技・東放技主催研修会への参加促進。（①総会②学術研修会③きめこまかな生涯教育④学術大会への参加・演題発表者増⑤各種事業への積極的参加（レクリエーション・ピンクリボンキャンペーン・新春のつどい等）

#### 第14地区

- ・地区研修会（施設見学）を開催する。

- ・城東支部研修会を開催する。
- ・地区委員会を年10回開催する。
- ・東京都診療放射線技師会未入会者（特に若手・新人）への入会促進を行う。
- ・地区委員の委任を要請する。
- ・地区会員名簿の管理を行う。
- ・小野賞の選考を行う。
- ・京都診療放射線技師会事業（定期総会・東京放射線医療技術学術大会・サマーセミナー・ウインターセミナー・日暮里塾ワンコインセミナー・きめこまかな生涯教育・メディカルマネジメント研修会・地区研修会・支部研修会）について広報を行い、積極的な参加を勧奨する。
- ・東京都診療放射線技師会に関する情報提供を行う。
- ・日本診療放射線技師会に関する情報提供を行う。

### 第15地区

- ・地区委員会を適宜開催。
- ・地区研修会の開催。（令和8年度は城南支部研修会）
- ・OTAフェスタ参加。
- ・小野賞等の表彰推薦。
- ・新入会者を増やす為の候補施設リストアップと会員維持の対策検討。

### 第16地区

- ・地区研修会を開催する。 2026年7月を予定
- ・城北支部研修会を開催する。 2026年9月を予定
- ・地区委員会を年10回 Zoomで開催する。
- ・城北支部合同地区委員会を、集合型で1回開催する。
- ・第5地区・第6地区と連携し、城北支部の活性化を図る。
- ・埼玉県診療放射線技師会と連携を図る。
- ・地区会員の、新たな地区委員への就任を依頼する。

### 城東支部

- ・城東支部研修会の開催。
- ・中央区健康福祉まつりの参加。
- ・合同地区委員会の開催。

### 城西支部

- ・支部委員会の開催 年3回。
- ・支部研修会の開催。
- ・支部関連地区委員会協力（研修会、広報活動）。
- ・支部合同委員会の開催。

### 城南支部

- ・城南支部研修会開催。
- ・OTAふれあいフェスタ参加。

### 城北支部

- ・城北支部研修会を開催する。 2026年9月予定
- ・集合型で城北支部合同地区委員会を開催する。
- ・第5地区・第6地区・第16地区の委員長で、会議を開催する。
- ・第5地区・第6地区・第16地区にて連携を図り、技師会活動を活性化する。

### 多摩支部

- ・年1回（可能なら2回）の支部研修会開催（WEB中心となるが参集型も視野に入れる）。
- ・広報委員会事業（ピンクリボンキャンペーン）への協力。
- ・多摩地域任意団体（多摩診療放射線技師連合会）のレクリエーションへの協力。
- ・他団体・研究会との協力（研究会参加など）を通じて新入会促進。
- ・支部内地区委員長会議の実施（対面・メールもしくはWEB：回数未定）。

## 3. 特別委員会

### 表彰委員会

- ・表彰規程に基づき叙勲およびその他の団体表彰候補者の選考・審査を行う。
- ・東京都診療放射線技師会 各功労賞候補者および団体の選考・審査を行う。

### 国際委員会

- ・日暮里塾ワンコインセミナー 2026SRTA学術大会報告会。
- ・2026年度上半期SRTA学術交流事業。
- ・2026年度第1回東京放射線医療技術大会インターナショナルセッション事業。
- ・2026年度下半期SRTA学術交流事業。
- ・2027SRTA学術大会インターナショナルセッション事業。

### 入会促進委員会

- ・7月～9月 動画・チラシなどで回答形式で発信（技師会費は妥当なのか）。
- ・10月～12月 上半期の振り返り（数字で）。
- ・1月～3月 養成校や勉強会などに宣伝。

### 放射線相談委員会

- ・放射線相談対応。
- ・放射線FAQ更新。
- ・放射線相談講習会（学術共同開催）。

### 定款諸規程等検討委員会

- ・定款諸規定等検討委員会の開催。
- ・定款の見直し修正等。

### 公益社団法人日本放射線技術学会東京支部との合同学術大会実行委員会

- ・開催に向けた会議を行う。
- ・合同学術大会を開催する。

以上